

住まう

House Planning
Magazine

2015 vol.

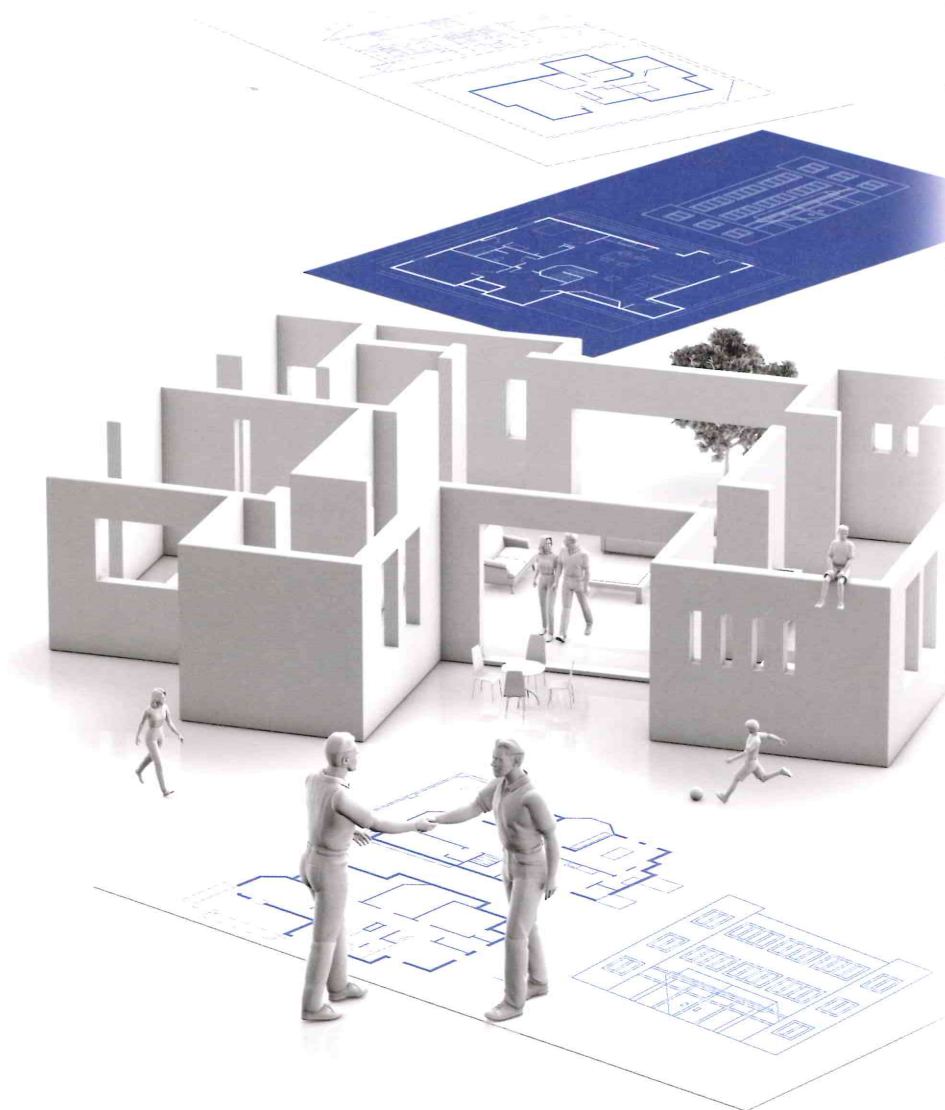
58

住まう

vol. 58

特集

建築家がつくる集合住宅



長年の実績とノウハウを活かした住まいづくり

T邸 株式会社日の出組 東村明良さん

歳と高塀の補修工事を
きっかけとして相談

大阪府東部の閑静な住宅街の一角に建つT邸は、築140年あまりの旧家を建て替えた住まい。1年前に、T邸の歳と高塀の補修工事を依頼されたことをきっかけに、Tさまから住まいのご相談を持ちかけられたのは、株式会社日の出組の東村明良さん。「古民家再生などもこれまで多く手掛けてきましたが、今回は建物の内部を拝見して、建て替えをお勧めしました。建物の老朽化が進んでいただけでなく、敷地が舗装された道路より低くなってしまうので、耐震面からも、地盤改良から行うべきだと判断しました」と話します。

建て替えにあたって出されたご要望は、「家族が過ごすプライベートスペースと、仕事関係などのお客さまのためのスペースをわけること、リビング・ダイニングを広く設けること、階段をリビングに設けること、仏間のある部屋を含めて和室を2室設けること、動線を広く確保すること、室内がすっきり見えるように収納をできるだけ多く設けることなどだったそう。「かなり多かったですね」とおっしゃる奥さまに、「具体的なご要望でしたから、出来る限りお応えしたい。とてもやりがいのある仕事でした」と、東村さんは微笑みます。



1



6

- 1 リビング横の階段が見える開口は、ロールスクリーンで開閉式。
- 2 門をくぐった先に見える、純和風の玄関。
- 3 多くのお客さまのために、ご家族の靴などが出しっぱなしにならないように配慮。玄関横には、シューズクロークを備えたご家族専用の出入口が設けられています。
- 4 明るい緑側のある和室スペース。
- 5 奥さまの身長にあわせた、使い勝手の良いキッチン。
- 6 開放的で明るいリビング・ダイニング。ご親族の集まりなど、大人数の場合も、和室との間仕切を開けて、大空間として活用することもあるのだそう。



ひがしむら あきよし
東村 明良さん

【株式会社日の出組】
1900年創業。1971年株式会社日の出組に組織を変更。2000年創業100周年を迎える。2002年有限会社ヒノデエステート設立。2003年ぶらすOne事業部設立。同年ぶらすOne仕様分譲住宅業務を開始。2010年エコアクション21認定取得。

- ・連絡先:日の出組
- ・住所:大阪府大東市大野1丁目13番18号
- ・電話:072-872-1212(代表)
- ・FAX:072-871-7941
- ・URL:<http://www.hinodegumi.co.jp/>

T邸 縮尺=1/200

■ エネファーム ■ ヌック ■ カワック ■ Siセンサーコンロ



T邸

- ・所在地/大阪府大東市 家族構成/ご夫婦+お子さま2人
- ・敷地面積/273.74㎡ 建築面積/158.94㎡ 延床面積/236.73㎡
- ・構造・規模/木造・地上2階建
- ・設計期間/2014年1月~2014年7月
- ・施工期間/2014年8月~2015年1月

導入ガス設備・システム

- ・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム エネファーム ・ガス温水床暖房 ヌック
- ・ガス温水浴室暖房乾燥機 カワック ・Siセンサーコンロ

長年のノウハウを活かした
住まいづくりの提案

プランとしては、来客に対応するための和室や応接室へは、リビング・ダイニングを通らずに玄関から直接入れるように、廊下の奥と手前にそれぞれのスペースを配置。また、2階へとつづく階段は、リビングの横に設けられています。「この階段は、通常より緩やかになるように、1間半の階段室となつていますが、既製の部材では対応できなくて苦労しました。リビング・ダイニング・キッチンから見えるよう壁は設けず、断熱効果の高い口ルスクリーンで開閉できるようにしています」と話す東村さんですが、「階段のほか、家具や大きな仏壇、応接室に

置く楽器など、びったりと収まるようにするため、本当に悩みました」と言います。「和室をもう少し広くしたかったのですが、普段使うスペースを大きくする方が暮らしやすいですよ」と、東村さんからアドバイスを受けました。プラン当初は現代風の家と漠然と考えていましたが、雑誌などを見るうちに色々と話し合いながら、一緒にいい住まいになりました」と微笑む奥さまの表情に、住まいへの満足度の高さがうかがえます。



3



4



5



2